



学校・家庭・地域をつなぐ

# 塩浜小 学校だより

令和3年1月22日  
No.27

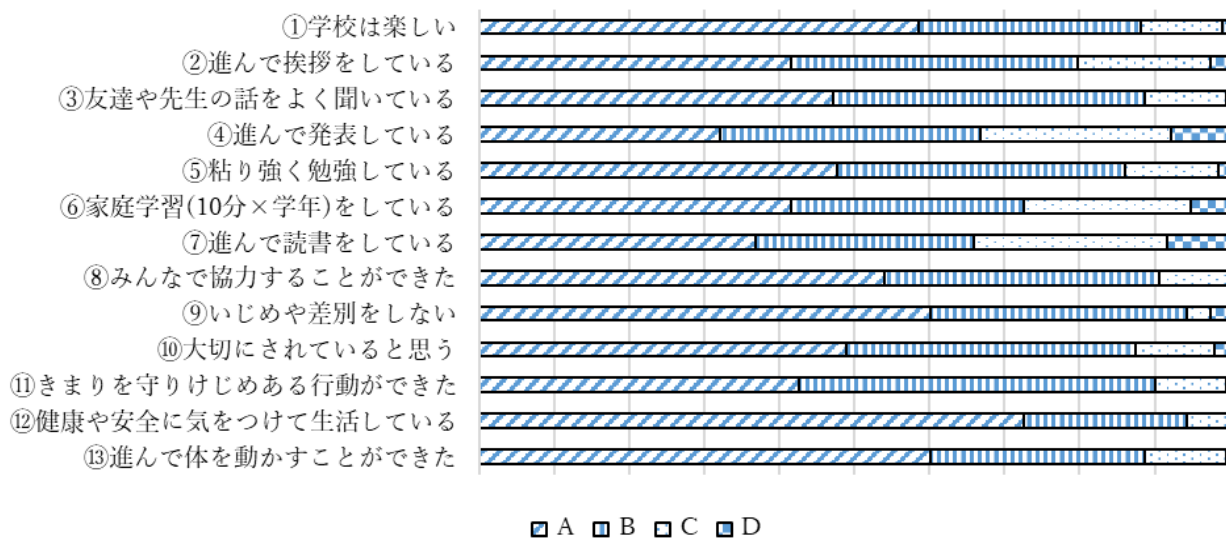
## 令和2年度 学校アンケート集計結果 および 考察

2学期末に行いました学校アンケートの結果について報告させていただきます。

これからも全職員で共通理解しながら、子どもたちの指導改善に努めていきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

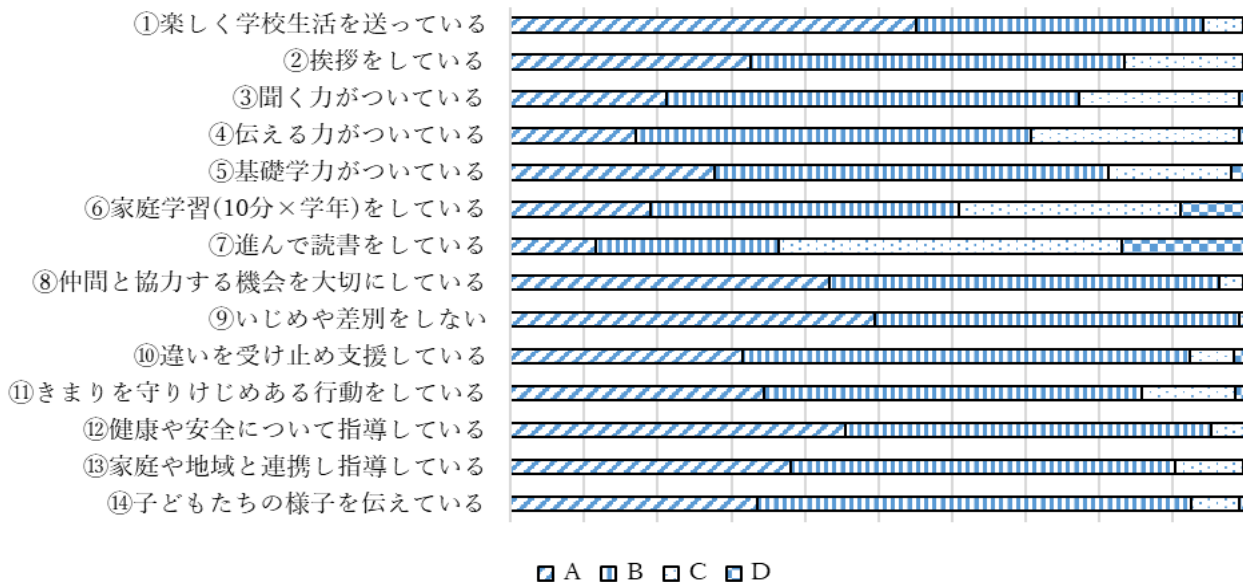
### 学校アンケート（児童）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 学校アンケート（保護者）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 【結果から見えてきたこと】

- 多くの子どもたちや保護者が「学校は楽しい」「楽しく学校生活を送っている」と回答しているが、「あまり楽しくない」と感じている児童が20名ほどいることにもしっかりと目を向けていかなければならない。今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、学校が急に休校になったり、多くの行事が中止または縮小されたりしたことによるものとも考えられる。これからも、いろいろな活動において制限されることがあると思われるが、子どもたちの安全を第一に考えながらも、充実した学校生活を送ることができるよう、学校行事や学習活動を工夫する。また、家庭との情報交換を密にし、一人ひとりの児童を全職員で丁寧に観ていきたい。
- 本校の目指す子どもの姿となっている「あいさつ」について、児童は校内では元気に挨拶をすることができる。しかし、登校時に、保護者や地域の方々に自分から挨拶することが難しい児童もいるようである。学校でも繰り返し声掛けを行うとともに、子どもたちが気持ちよく登校することができるよう、「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを家庭と連携しながら進めていきたい。
- 子どもたちの中には、友達や先生の話す「聞く」ことはできるが、自分の考えを「話す」「伝える」ことは苦手と感じている児童が多い。新学習指導要領でも「主体的で対話的な学び」を大切にしながら学習を進めていくことになっているが、コロナ禍の中、子どもたち同士で伝え合うためのペア学習やグループ学習、児童集会等の活動が制限されている。来年度より、四日市市では一人に1台ずつタブレットが提供されることになっている。全児童がICT機器の使い方慣れるとともに、ICT機器を使った学習活動に興味・関心を持って取り組ませ、タブレットを使って自分たちの考えをお互いに伝え合う場を設定していきたいと考える。
- 家庭学習については、10分×学年の時間を目安として子どもたちに指導しているが、「できている」または「だいたいできている」と回答した児童は72%、保護者は61%。家庭学習の時間や内容に課題が見られる。家庭で繰り返し復習することで基礎的な学習内容が定着する。また、時間に余裕がある時には、学校から出された課題の他に、自分の強みをさらに伸ばすことや自分の弱みを補うことなどにもチャレンジできるとさらに学力が伸びると考えられる。今後、家庭と連携しながら、家で学習に向かう時間を意識させたり課題の内容を工夫したりしていく。
- 毎年、課題として挙げられる読書活動については、昨年度より図書ボランティアを募集し、図書館整備や読み聞かせを行ったり、図書委員会を中心に図書館まつりを開催したりしたが、今年度は、図書室が密になるためすべての活動を取りやめた。低学年では、週1回、図書室へ行き本を読む機会を設けたり、お勧めの本を紹介し合ったりしたため、肯定的な回答が多くなっている。3学期には図書館司書による読み聞かせを行ったり、図書館や学級文庫の本を計画的に購入したりして、子どもたちが本に親しむことができるよう環境を整えていきたい。
- 「いじめや差別をしない」については94%、「みんなで協力することができた」は91%の児童が肯定的な回答をしている。本校はほとんどの学年が単学級でクラス替えがなく、1年生から同じ仲間として共に成長してきている。これは、本校の強みでもある。また、縦割り班の活動を通して、「協力して活動することの楽しさ」を上級生から下級生へ伝えてくれている。コロナ禍ではあるが、感染対策を行いながら、仲間とともに力を合わせて最後までやり切ったという経験をさせたり、道徳教育をさらに充実させたりするなど、100%を目指しさらに実践を積み重ねていきたい。
- 「決まりを守り、はじめある行動」については、90%の児童ができたという回答し、昨年度より6ポイント上昇している。本校のきまりについて全職員で見直し、2学期始業式で改めて児童に提示した。また、全校で自分たちの生活を振り返る機会を定期的に設けたことで、子どもたちも意識し始めているのではないかと考えられる。引き続き、指導を行っていきたい。
- 「健康や安全（交通安全）」については、肯定的な回答が昨年度より5ポイント上がっている。これは、いつも登下校を見守っていただいている保護者や地域の皆様のご協力のおかげである。また、発育測定時に行う保健指導や栄養教諭による食育指導によって、子どもたちの関心が高まっていることも考えられる。これからも家庭と連携しながら進めていきたい。

これからも、しおはまっ子が「笑顔で通える塩浜小学校」を目指し、全職員で取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。